

令和3（2021）年度

運営に関する計画



大阪市立豊崎小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

学校生活における様々な場面を通して「自分のよさ」を感じる取り組みや場面の設定を工夫してきた。それらの取り組みを続けた4年間を通して徐々に自尊感情や自己肯定感は高まった。児童は卒業したり、また入学したりして入れ替わる。学年が上がると、人の目が気になったり、人と自分を比較したりする傾向が強くなったりする。引きつづき取り組みを継続する。

一人一人の児童理解を深めるために、情報交換を重視し共通理解を図ることを大切にしてきた。本年度はそれに加え、スクールライフノートの積極的な活用を通し、スピード感をもって児童理解を深めたい。

コロナ禍での社会の状況の変化から新たな人権にかかわる問題が出てきている。それらを敏感にとらえ、正しい知識や情報をもとに研修指導を実施してきた。本年度も色々な諸問題に迅速に対応できるように研修を深めたい。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り開くための学力・体力の向上】

新学習指導要領を受けて、児童が主体的に学ぶ授業展開を工夫してきた。習熟度別学習・少人数学習を実践し、個に応じた学習を実施してきた。本年度はさらに一人一台の端末の活用を進めていきたい。

今まで、実践を積み重ねてきた地域の人材を生かした学習がコロナ禍の中では例年通り実施できなくなった現状があった。その様な状況の中、直接交流できなくても、手紙やマップ作り、映像など通して交流するなど工夫を行った。さらに、本年度はICT活用なども含め、積極的に交流を行いたい。

昨年度より運動場が工事の関係で狭くなる中、縄跳びや体操など子どものたちの体力向上を図ってきた。本年度も継続して実施していきたい。

また、子どもたちの成長に影響する姿勢の改善に継続指導を行ってきた。本年度も姿勢が子どもたちの成長にどのように影響するのかを研究しながら、日常指導に合わせ、姿勢強調週間を設定するなど、一年を通して取り組んでいく。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 令和3年度の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上に向上させる。
- 令和3年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を毎年100%にする。
- 令和3年度末の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがある」と答える児童の割合を95%に向上させる。
- 令和3年度末までの校内調査（保護者）における「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を90%以上に保つ。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り開くための学力・体力の向上】

- 令和3年度の小学校学力経年調査における正答率5割以下の児童を、いずれの学年も平成28年度より5%減少させる。
- 令和3年度3学期における校内調査で「授業はわかりやすい」と答える児童の割合を90%以上にする。
- 令和3年度末の小学校学力経年調査における「話すこと・聞くこと」についての正答率を85%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標

- 令和3年度の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%にする。
- 令和3年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を昨年度の96%を維持向上させる。
- 令和3年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- ① 令和3年度の校内調査「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上に向上させる。
- ② 令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を毎年100%にする。
- ③ 令和3年度末の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがある」と答える児童の割合を前年度の97%を維持、1%でも向上させる。
- ④ 令和3年度末の校内調査（保護者）における「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を現状の90%以上を維持する。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り開くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 令和3年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較しいずれの学年も前年度より向上させる。
- 令和3年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5%減少させる。
- 令和3年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5%増加させる。
- 令和3年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である立ち幅とびの平均の記録を、前年度より向上させ全国平均以上にする。

学校園の年度目標

- ① 令和３年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度よりいずれの学年も向上させる。
- ② 令和３年度３学期における授業アンケートで「授業はわかりやすい」と答える児童の割合を前年度の９０％を維持１％でも向上させる。
- ③ 令和３年度末の小学校学力経年調査における「話すこと・聞くこと」についての正答率を８５％以上にする。
- ④ 令和３年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における立ち幅とびの平均の記録を女子１４２ｃｍ、男子１４５ｃｍを目標とする。
- ⑤ 令和３年度の校内調査の「姿勢に気をつけて学校生活を過ごしていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を８０％以上にする。

【その他】

３ 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立豊崎小学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標

- 令和3年度の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%にする。
- 令和3年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を昨年度の96%を維持向上させる。
- 令和3年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- ① 令和3年度の校内調査「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上に向上させる。
- ② 令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を毎年100%にする。
- ③ 令和3年度末の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがある」と答える児童の割合を前年度の97%を維持、1%でも向上させる。
- ④ 令和3年度末の校内調査（保護者）における「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を現状の90%以上を維持する。

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

取組内容①【施策3 道徳心・社会性の育成】

- ・より良い集団としての力をつけるためにたて割り班活動や児童会活動等、児童会年間指導計画を作成し、実施する。
- ・各学級朝の会や帰りの会で「友だちの良いところ」や「自分のがんばり」等のスピーチや、朝会時の「ひとりひとこと」等、自分の意見を発表する場の設定をしたり、ギャラリー表彰に取り組み視覚的にも、自分の頑張りを実感できるようにしたりする。
- ・学級での係活動や児童会活動等で、子どもが自身の活動を振り返る活動を定期的に行い自己有用感を実感できるようにする。
- ・学習活動の中で、友だちからのメッセージのやり取り等の交流活動に取り組む。

指標

- ・児童会年間指導計画通り、進めることができた。
- ・全学年において取組内容記載にある工夫のいずれかを毎日行うことができた。
- ・キャリアパスポートを活用し、毎学期振り返りの活動を行うことができた。

取組内容②【施策2 安全で安心できる学校、教育環境の実現】

- ・毎月の職員会議や、児童理解に関する研修を実施し、学級担任を中心に子ども・保護者

の状況を全教職員で共通理解する。

- ・いじめアンケートを年3回行い、早期発見、組織的な対応を行う。
- ・いじめ対策基本方針の流れに沿って組織的に対応する。

指標

- ・豊崎小学校いじめ防止基本方針に則り取り組むことができた。
- ・児童理解に関する職員研修を年1回以上計画し実施することができた。

取組内容③【施策3 道徳心・社会性の育成】

- ・道徳教育の全体計画に沿い、様々な活動の場面で自尊感情を高めていき、互いのよさや違いを認め合い、一人一人を大切にする集団を育てる。
- ・人権実践の授業を校内において年3回（低・中・高）参観し、その後全体研修を実施する。

指標

- ・道徳教育全体計画の学年の重点目標に向けて、特別活動、教育環境の整備、体験活動等取り組むことができた。
- ・人権教育年間指導計画にある全ての項目で一つ以上実施することができた。

取組内容④【施策7 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

- ・学校だよりや学校ホームページ等で、教育活動の様子を保護者や地域の方に積極的に発信する。

指標

- ・毎月の学年だよりの発行や、学校ホームページを作成し（週1回以上）情報公開を行った。

大阪市立豊崎小学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り開くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 令和3年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較しいずれの学年も前年度より向上させる。
- 令和3年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5%減少させる。
- 令和3年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5%増加させる。
- 令和3年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である立ち幅とびの平均の記録を、前年度より向上させ全国平均以上にする。

学校園の年度目標

- ① 令和3年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ② 令和3年度3学期における授業アンケートで「授業はわかりやすい」と答える児童の割合を前年度の90%を維持1%でも向上させる。
- ③ 令和3年度末の小学校学力経年調査における「話すこと・聞くこと」についての正答率を85%以上にする。
- ④ 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における立ち幅とびの平均の記録を女子142cm、男子145cmを目標とする。
- ⑤ 令和3年度の校内調査の「姿勢に気をつけて学校生活を過ごしていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- ・単元の特性に合わせ、基礎基本を徹底するために以下の工夫を各学年の発達段階に合わせて行う。
反復練習・小テスト・単元のまとめ・解きなおし・音読・読書・日記指導・家庭学習の精選。
- ・単元の特性や学習進度に応じて習熟度別少人数指導やグループ別授業や入り込みを行うと共に、指導方法・教材等の柔軟な提供・設定も併せて行い、児童の学習意欲を高めるとともに学習の定着を図る。

指標

- ・全学年において取組内容記載にある工夫のいずれかを毎日行う。
- ・3年生以上の算数科では、全単元の半分以上の授業において習熟度別少人数指導か少人

数均等割り指導や複数の教職員の入り込み授業を行う。また配慮を要する児童においては指導方法・教材・指導場所を柔軟に変え提供・設定し指導を行う。

取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- ・様々な学習や活動において自分の思いや考えを伝え、互いに聞き合う場を設定する。
- ・自分の考えをもたせる手だてとして話し合い活動の前には自分の考えや思いを「書く」時間を設定する。また個に応じた支援として配慮を要する児童には支援者と共に考えを書くことで意欲的に話し合い活動を行えるようにする。また児童の発達段階に応じて話し合いによる自分の考えの変化や深まりを意識できるようにしていく。
- ・「聞くこと」に関して、各学年児童の発達段階に応じて週に1度程度「聴写指導」や「聞き取り練習タイム」などを行う。

指標

- ・学年の発達段階に合わせて、自分の思いや考えを伝え、互いに聞き合うスピーチの場を設定する。
- ・各学級での話し合い活動を週に1度設ける。そして話し合いの前には自分の考えや思いを「書く」時間を設定する。また個に応じた支援として配慮を要する児童には支援者と共に考えを書くようにする。

取組内容③【施策7 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

- ・地域の様子や歴史、文化を生かした学習において、成果を発表する場を設定する。
- ・互いの成果を認め合い、思ったことを交流できるようにする。

指標

- ・各学年の教育課程や児童の実態に応じ、地域の様子や歴史、文化を生かした学習を年間に1回以上計画、実施する。
- ・キャリアパスポートに年間の学習成果を記録する。

取組内容④【施策6 健康や体力を保持増進する力の育成】

- ・毎時間の体育科の授業の中に、持久性を高める運動（なわとび・ランニング等）を計画的に位置づけ、実践することで体力の向上を図る。
- ・新体力テスト測定方法の共通理解を全体で図り、瞬発力を高めるのに効果的な研修などを行う。

指標

- ・体育科の授業の中で、持久性を高める運動（なわとび・ランニング等）か瞬発力を高める運動（ラダートレーニング・スクワット運動）を週に1回以上行う。

取組内容⑤【施策6 健康や体力を保持増進する力の育成】

- ・学期に1回強調週間を設定し、正しい姿勢で学習や生活をしようとする意識を高める。（よい姿勢ができたときに称賛することで実感させ、意識づけの強化を図る。）

指標

- ・通常授業時において「豊崎立腰タイム」を週に3回以上行う。